

SE 研修受講感想レポート

2021 年度 6 月受講生 E.S.さん（金融サービス会社）

SE 研修を受けて思ったことを大きく 4 つに分けて報告する。

一つ目は研修全体についてだ。基本的な業界全体の知識から、実際の工程の進め方まで、SE としての基礎知識を身に着けることができた。就活時の業界研究や企業研究で知っていたこともあったが、まとめて体系的に教わることで、全体像を描けたと思う。

講師の方個人の事例も教わることで、イメージしづらい実際の業務が具体的に把握できた。自分が働く姿を思い描きやすくなったので、実際の業務も戸惑うことが少なく参加できると思う。

一番印象に残っているのは、第一部で教えられた良い SE の条件である。お客さんや周囲からの信頼が厚く、勉強熱心で営業的提案もできるのが良い SE の条件の一つだと教わった。

その中でも営業的提案ができるというところが特に腑に落ちた。研修を受ける中で、IT はあくまでも技術に過ぎないと学んだからだ。道具に過ぎない IT 技術をどのように用いるのかによって、成しうる仕事の大きさが変わってくると思う。世の中や会社が抱える課題に対して、自分ほどの技術を用いて何ができそうかを日々考えていきたい。

二つ目は疑問に感じた点だ。研修では、何か課題があってそれを解決するためにシステムを用いるケースを中心に教わった。これ以外の場合、例えば何か新しいものや事業を始める際には、問題の枠組みをどのようにとらえればよいのだろうか。

私はそうした場合でも、他人が気づいていない課題に気づくことが大事なのではないかと考える。これは、研修であったシーズの具体化ということになってしまい、システムで解決すべき問題ではないようにも感じられる。しかし、会社の発展や世の中への貢献のためには、何か新しいことを行うことが必要不可欠である。日ごろから新聞や人の話を注意深く観察し、自分の中にアイデアの種を貯めていきたいと思う。

三つ目は、よく言われるように、確かにシステムは建物のようだという事だ。完成物に比べてはるかに小さな作業が積み重ねられて、ようやくシステム全体としての機能を果たすことができるとわかった。また、使い方の説明が必要だったり、保守や運用のことまで考える必要があったりと、長期的な視点も大事だとわかった。目の前の作業を確実にこなすと同時に、顧客のことを最後まで考えることを意識づけたい。

四つ目は、IT 技術の習熟には実際にその技術を使用してみることが大事だということだ。SE 研修では、かなり幅広いことをたくさん教わった。しかし、開発実習においては、教わった知識をうまく使いこなせないこともあった。やはり実際に手を動かしてみることで、技術の使い方は身につくものだと感じる。

また、技術だけに限らず、複数人での共同開発の方法論といったかなり普遍的なスキルについても、実際に経験してみることが大事だと思った。経験することで学んだ知識を定着させることができると思う。どんなものであれ、チャンスがあればどんどん参加し、自分のできることの幅を広げていきたい。

SE 研修では多くのことを学んだ。適宜資料を読み返すなどして、実践に活かしていきたい。